コロナ感染と経済の見通し

2022年3月8日

別府正太郎 · 古川直季 · 芳賀沼和哉 · 川脇颯太 · 前田湧太 · 仲田泰祐 · 畝矢寛之(東京大学)

設定

- 東京都における分析
- 2022年3月第4週から6か月かけて「コロナ危機前の人流・社会経済活動」に回復
 - 3月21日にまん延防止等重点措置が解除されることを考慮。
- オミクロン株 BA.2系統の広がりを考慮
 - 2月第4週に2.2%、3月第5週に74%の新規感染者がBA.2系統に感染している (https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/021/131/81/20220303_10.pdf)との仮定 のもとでロジスティック関数により外挿。
 - BA.2系統の感染力はBA.1の1.3倍と仮定
 - 4月1日のBA.2系統の割合は74%で、26%の実効再生産数増加 (2022年3月2日AB3-3資料, https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000906086.pdf)
- 基本再生産数(BA.I)の違いでケース分け
 - ▼ ケースA:基本再生産数3.0
 - ▼ ケースB:基本再生産数2.5
 - ケースC:<u>基本再生産数2.0</u>

設定

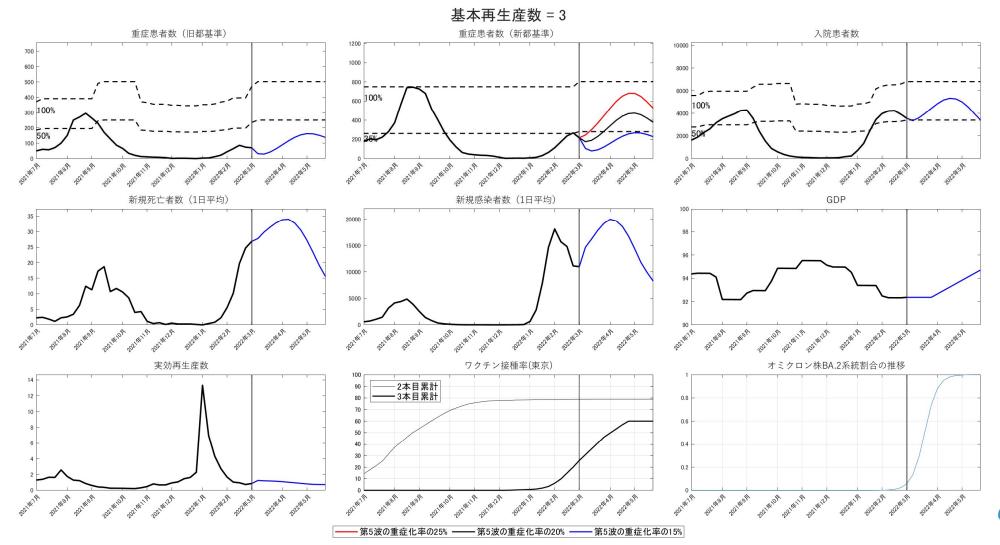
- 2回接種のオミクロン株に対する感染予防効果: デルタ株の50%
- ワクチン3回目接種
 - 3月:70万本/週、4月:50万本、以降徐々にペース減少
 - 最終3回目接種率=総人口の60%、二本目接種者の90・70%(高齢者・高齢者以外)
 - 3本目ワクチンの感染予防効果:85%
 - 今週分の1.2本目のワクチンデータは、先週のデータで補間
- 季節性:Sine関数を利用して、接触率パラメターの冬場の最大値が夏場の最小値の1.2倍に設定
- 第6波における致死率・重症化率(旧都基準・新都基準・国基準)・入院率: <u>第5波と比べて相対的に</u> 20%
 - 「第6波における重症化率・致死率」参照。Composition Effectsとワクチン効果減退Effects等を考慮
 - 新都基準に関しては、3つのケースを考慮: 15% 20%, 25%

重要ポイント

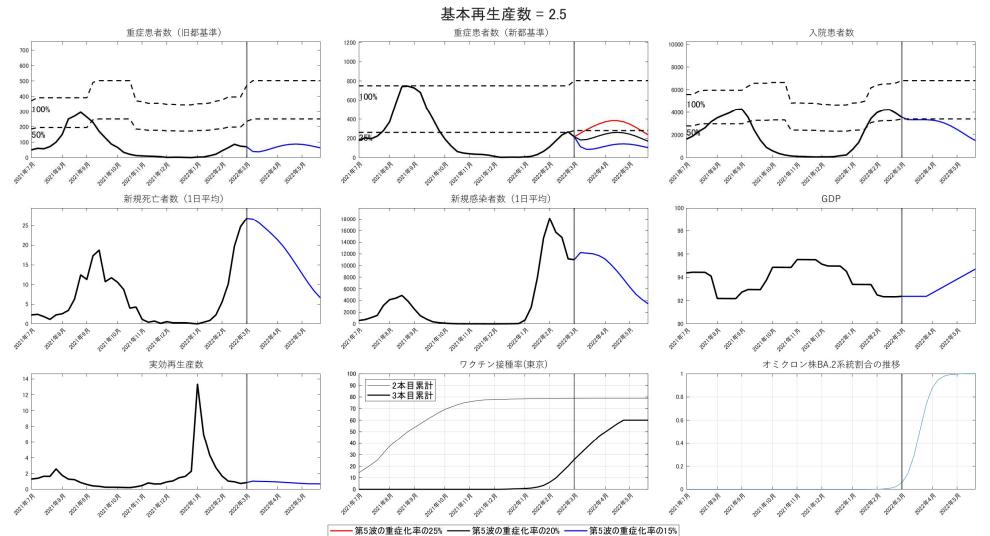
- <u>新規感染者数が1か月以上横ばい、そしてその後徐々に減少のケースでは、東京都の様々な病床使用率は基本的に現状</u>よりも大きく増加しない
 - <u>ケースB</u>
- <u>今週から第7波が始まり、第7波が第6波よりも多少大きく、また長期化しても重症病床使用率(新基準)は60%を超え</u>ない可能性が高い
 - ケースA

<u>結果</u>

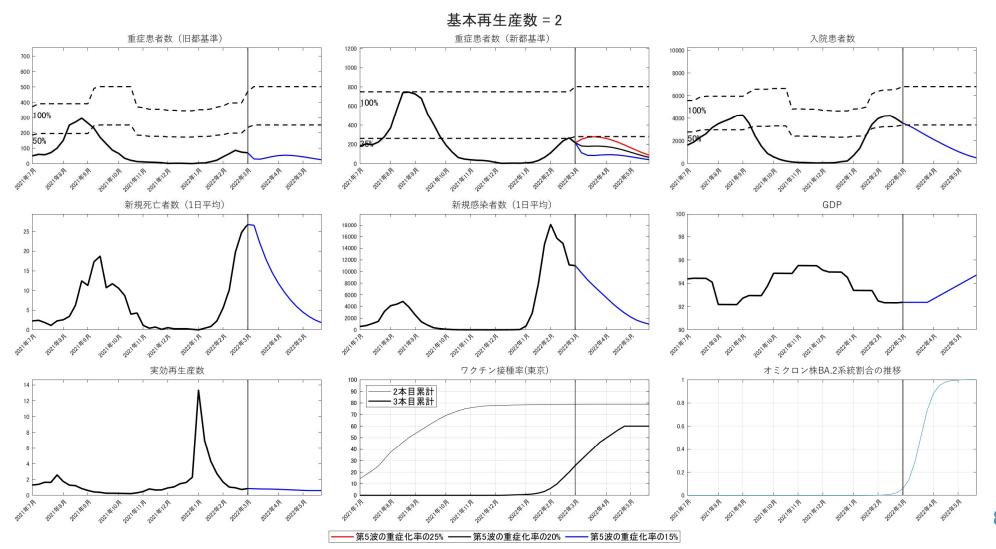
ケースA: 基本再生産数3



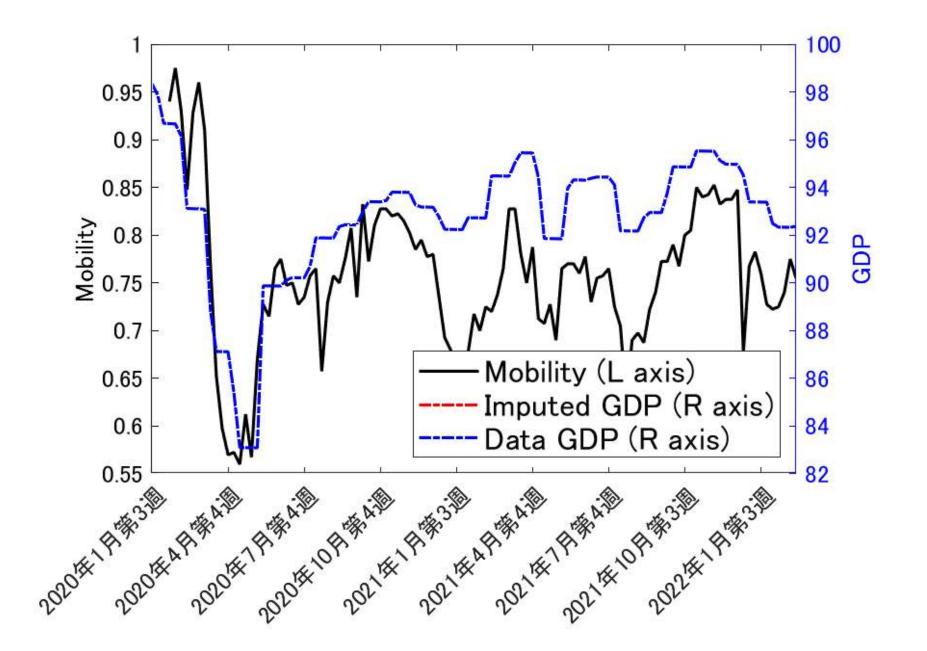
ケースB:基本再生産数2.5

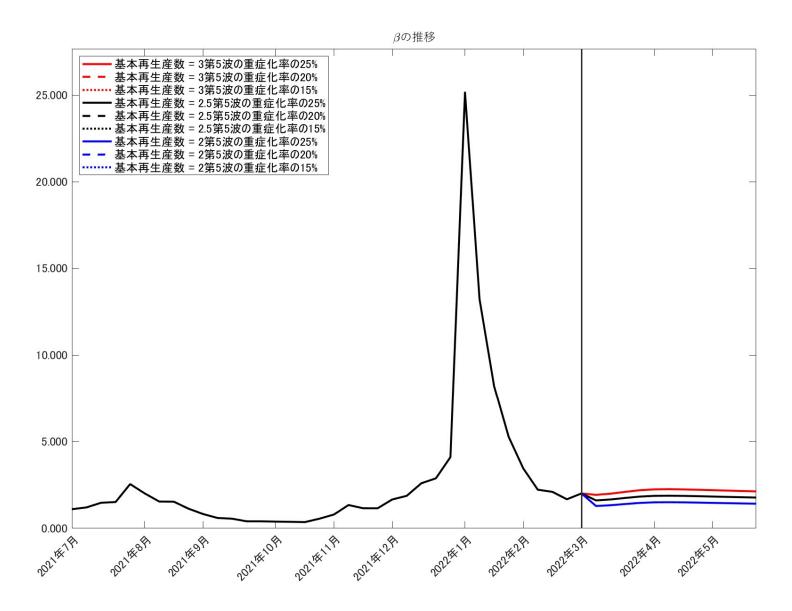


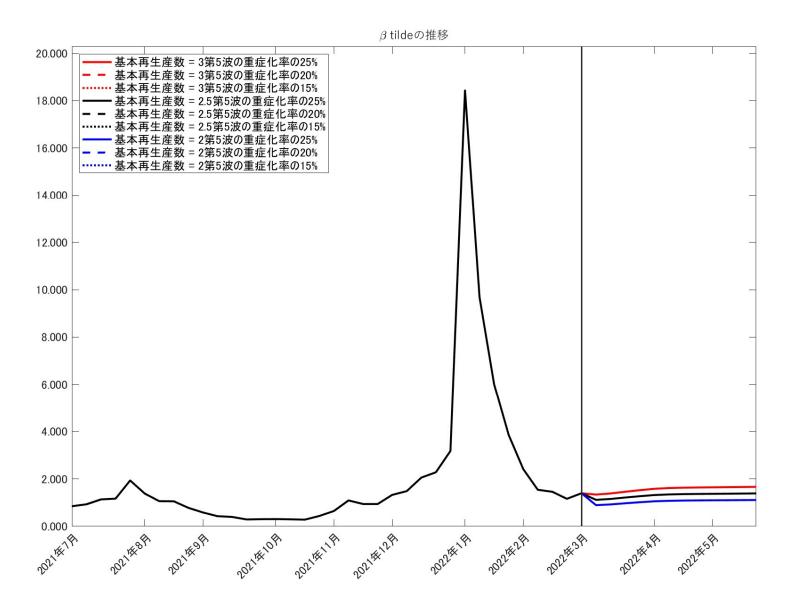
ケースC:基本再生産数2



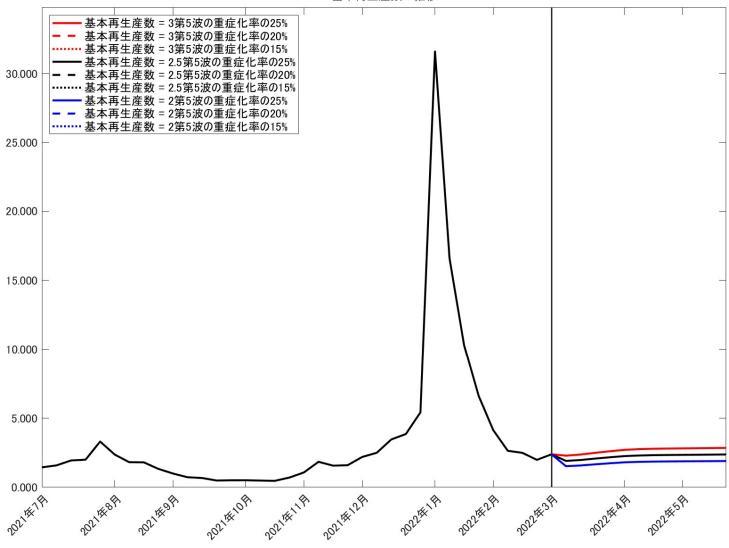
重要パラメターの推移



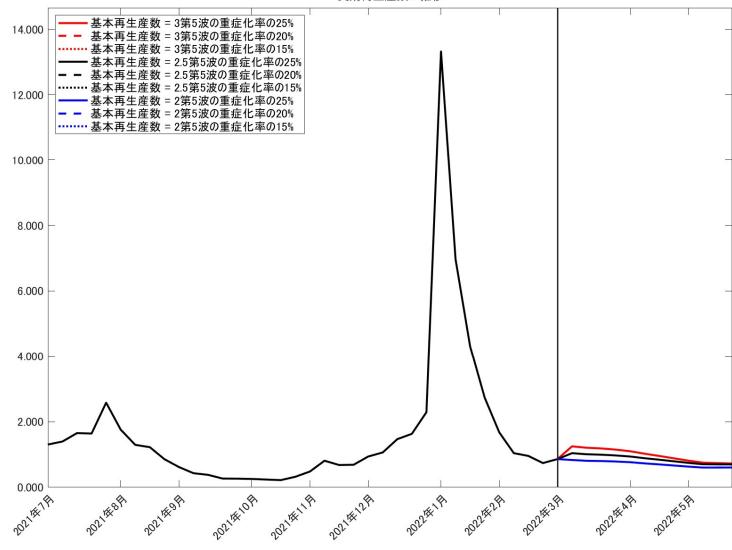


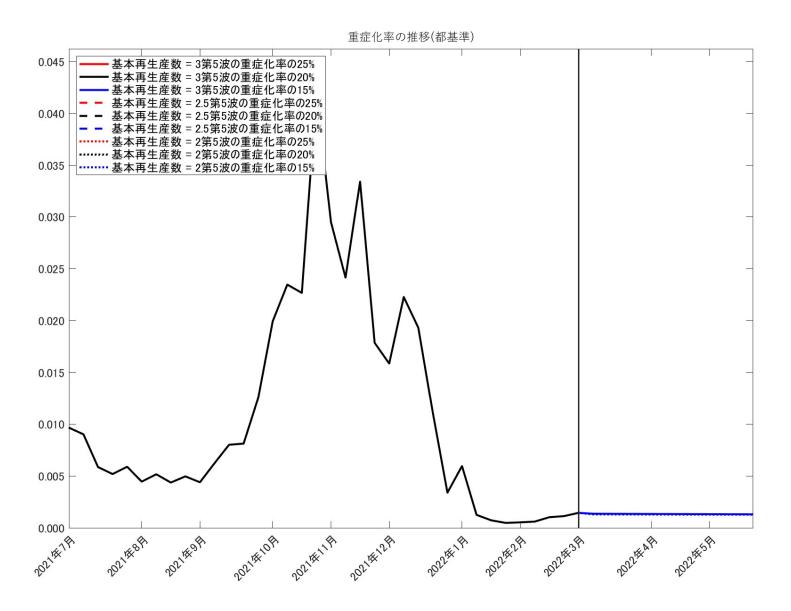


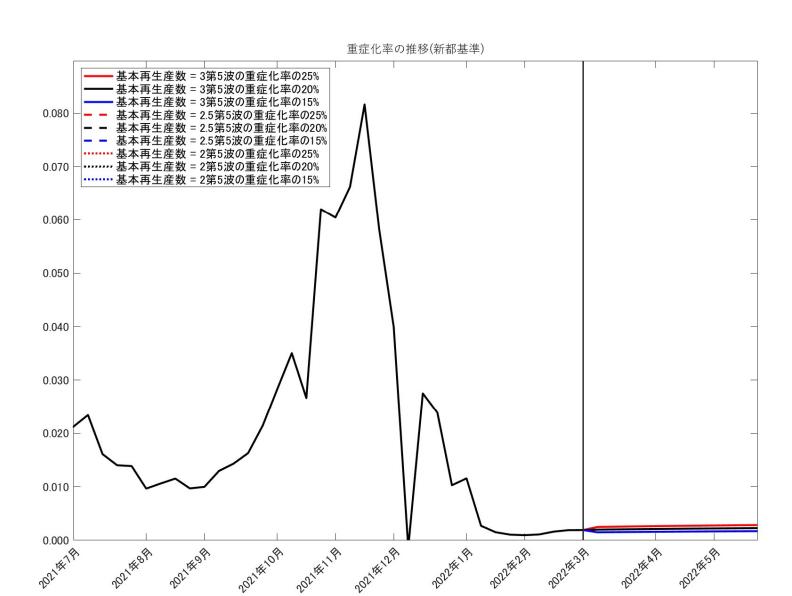


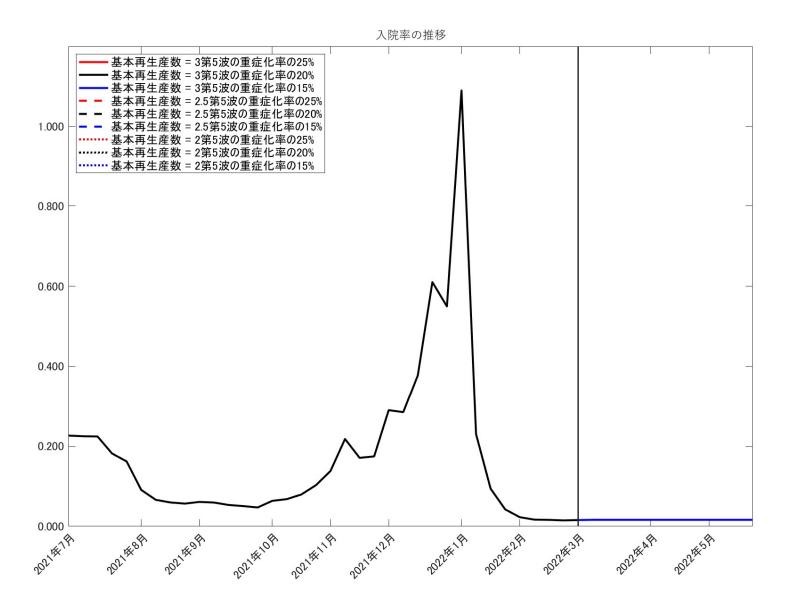


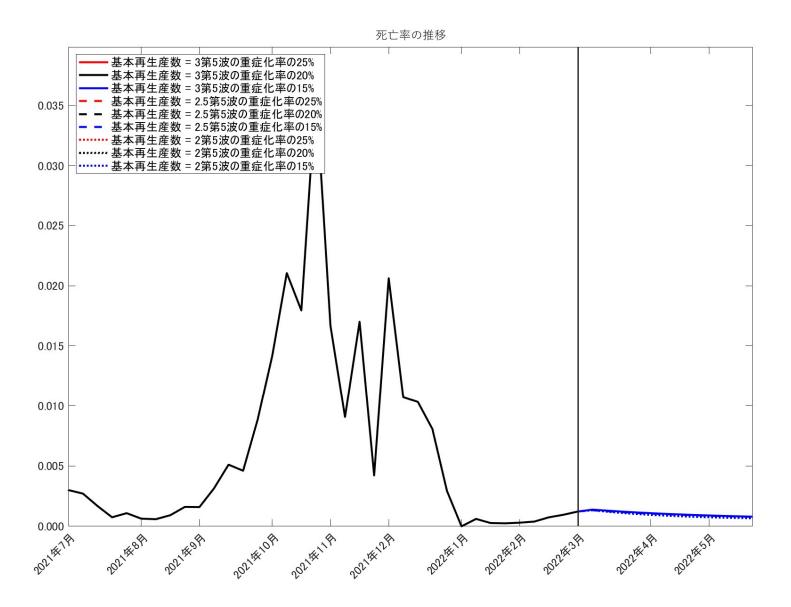












- 火曜日に分析更新・Zoom説明会:https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/
- 参考資料: https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html
- Zoom説明会動画: https://covid19outputjapan.github.io/JP/recording.html
- 経済セミナー連載
 - https://note.com/keisemi/n/n9d8f9c9b72af、https://note.com/keisemi/n/n7f38099d0fa2
 - https://note.com/keisemi/n/nd1a6da98f00e https://note.com/keisemi/n/n430f8178c663
- **論文**: https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs42973-021-00098-4
- Twitter: https://twitter.com/NakataTaisuke
- 質問・分析のリクエスト等
 - <u>taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp</u>